

立志だより



立志・自主・勤勉

与那原町立与那原中学校
校長 當間 保

教育目標 ○創意工夫して、よく学ぶ生徒 ○豊かな心を持ち、思いやりのある生徒
○進んで自らを鍛え、最後までやり遂げる生徒

いよいよ秋休み! みんなで頑張った1学期

二学期制の与那原町では、今週金曜日に一学期終業式を行い、11日土曜日から15日水曜日までの5日間秋休みとなります。4月8日始業式から101日間の一学期、日々の授業をはじめ、朝や放課後のボランティア活動に委員会活動、スポレクや生徒総会等の学校行事、そして部活動など、様々な場面で与那原中の生徒の皆さんの頑張る姿が数多く見られました。その証しとして1学期だけで、延べ「666名」の生徒が様々な表彰を受けたのはとても素晴らしいと思います。

秋休みは自分で生活リズムをつくることになります。キーワードは「自律」です。自分自身で心と行動を律し、コントロールする力が問われます。秋休みは「自律力」をつけるチャンスでもあります。自律を意識して、自分自身を成長させる充実した秋休みにしてください



《給食時間のオンライン表彰》

◆第5回校長講話「運のいい人」パート1

第5回校長講話では、夏の甲子園で優勝した沖縄尚学高校野球部のレギュラーとして活躍した本校卒業生、玉那覇宝生先輩(高校2年生)のビデオメッセージを紹介しました。「諦めずにやりきること」「仲間と支え合うこと」「勉強と部活の両立」など、力強い言葉が印象的でした。

講話のメインテーマは「運のいい人」。脳科学者・中野信子さんの著書をもとに、運は偶然ではなく「思考と行動の結果」であり、誰にでも平等に訪れることを紹介しました。前向きな姿勢や行動力、人とのつながりを大切にすることが、運を引き寄せる鍵になるそうです。日々の小さな挑戦が、幸運への第一歩となります。

次回の校長講話でさらに詳しく紹介します。お楽しみに!



頑張る1年生! 「進路学習 高校調べ」「認知症サポート講座」

1年生では、2年後の進路選択に向けた第一歩として、グループで県内の高校について調べ、発表会で全体に共有しました。県立高校の普通科にも多様なコースがあり、実業高校には商業・工業・農業など、専門分野に特化した学科があります。まずは高校の種類や特徴を分担して調べ、自分の興味や伸ばしたい力と照らし合わせながら、将来の進路や夢につなげることを目的に取り組みました。調べ学習を進める中で、漠然としていた進路が少しずつ見えてくる一方で、選択への迷いも生まれてきたようです。

これからの進路選択に向けて、自分自身と向き合い保護者の方とも一緒に準備を進めていってほしいと思います。

10月6日(月)、1年生を対象に「認知症サポーター養成講座」が行われました。与那原町では高齢者のいる世帯が増えている現状を踏まえ、認知症への正しい理解を深め、「よき応援者」となってもらうことで、安心して暮らせる町づくりをめざして、毎年1年生を対象に実施されています。講師は「沖縄リハビリテーション福祉学院 作業療学科長 吉岡美和様」「町地域包括支援センター相談員 大城あゆみ様」ほかの方々が務め、認知症についてクイズを交えながらわかりやすく説明したり、実際に認知症の方に出会ったときの対応について、講師の先生方と生徒がロールプレイを通して学びました。受講後には、参加した1年生全員に「認知症サポーター証」が贈呈されました。

今回学んだことを、ぜひ今後に生かしてほしいと思います。



《各学級での発表会の様子》



《講師の先生によるロールプレイング》



《認知症サポーター証》